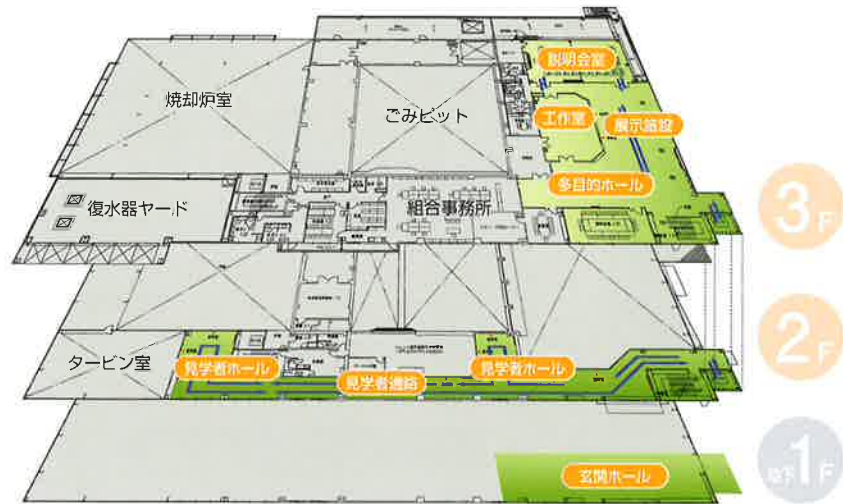


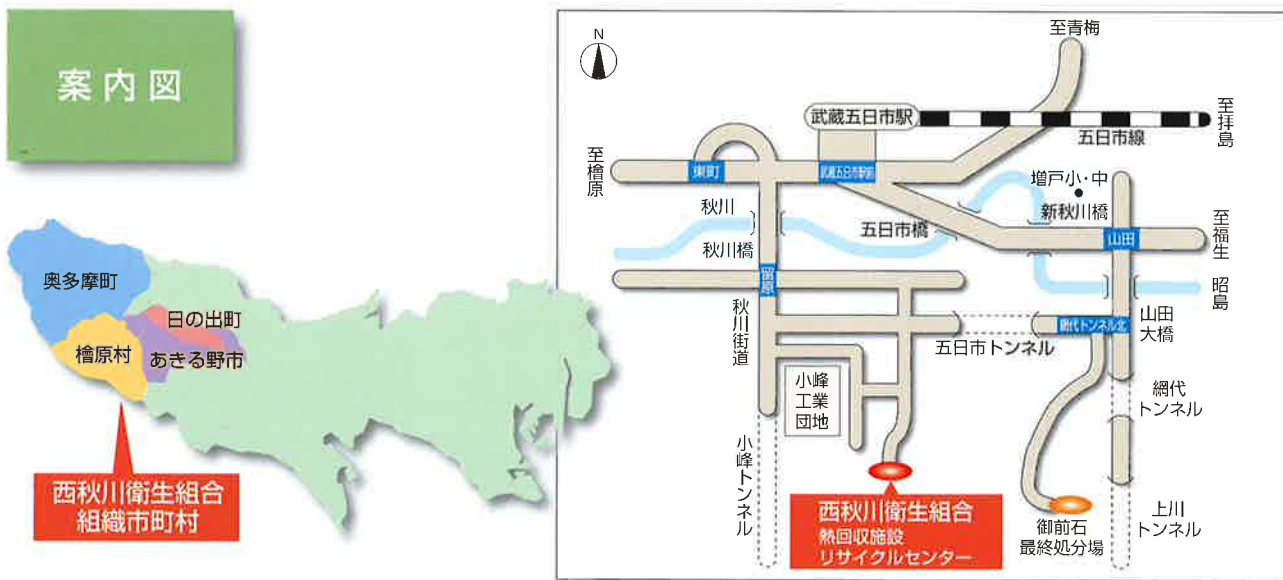
敷地配置図



見学者施設



案内図



# 西秋川衛生組合

## ● 熱回収施設



豊かな自然と緑に

包まれた街をいつまでも守ります

西秋川衛生組合

〒190-0154 東京都あきる野市高尾 521  
 TEL:042-596-4418 (直) FAX: 042-596-4592  
<http://www.nishiakigawa.or.jp/>

NISHII AKIGAWA



# 豊かな自然を守り、安心して暮らせる環境を維持するために、ごみ処理施設が貢献します。

## 集められたごみは自動燃焼制御で安心・安全

熱回収施設では最新の技術を導入し、ごみを高温で燃焼する「流動床式ガス化溶融炉」を採用しています。ごみを適正かつ安心・安全に処理しています。

## 焼却により発生する熱エネルギーを回収・利用

ごみを処理する過程で発生する熱エネルギーにより発電を行い、施設の電力をまかなうとともに、余熱利用システムにより、一部、場内への給湯を行い、効率的なエネルギーの有効利用をしています。



## 高度な排ガス処理により、燃焼ガスをきれいにして排出

ダイオキシン類をはじめとする有害物質の排出を抑制し、排ガス自主基準値を厳しく設定して、運転を行っています。

## 資源を効率よく回収しリサイクル品として再利用

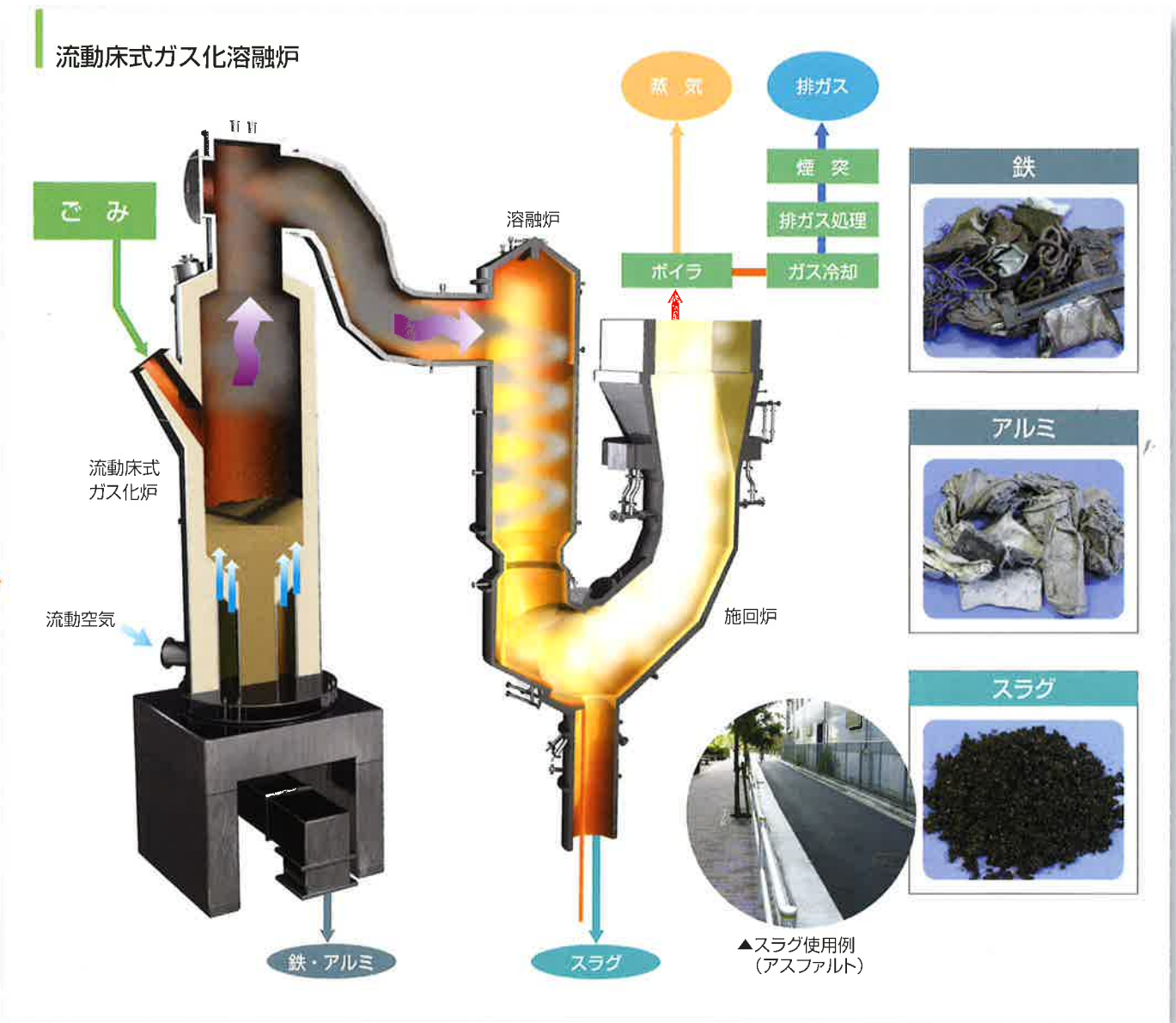
ごみに含まれる鉄とアルミを資源として回収するとともに、ごみを溶融してスラグとし、道路用資材等として再利用を図っています。

### ●公害防止基準

項目	基準値
ばいじん	0.005g/Nm <sup>3</sup> 以下
塩化水素	10ppm以下
硫黄酸化物	5ppm以下
窒素酸化物	40ppm以下
一酸化炭素	30ppm以下(4時間平均値)
ダイオキシン類	0.01ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> 以下
水銀	0.03mg/Nm <sup>3</sup> 以下



この施設は21世紀にふさわしい次世代型と言われる流動床式ガス化溶融炉を採用しています。この豊かな自然環境を守り、循環型社会の構築と環境保全を考えた施設です。



### 施設概要

- 施設名称 西秋川衛生組合 熱回収施設・リサイクルセンター
- 所在地 東京都あきる野市高尾521
- 着工 平成23年4月
- 竣工 平成28年3月
- 〈熱回収施設〉
- 処理能力 117t/日(58.5t/24h×2系列)
- 処理方式 流動床式ガス化溶融炉
- 〈不燃・粗大ごみ処理設備〉
- 処理能力 27t/日(5h)

- 〈修理・再生展示施設〉
- 多目的ホール(展示ホール)
- 見学者説明室
- 〈リサイクルセンター〉(平成27年度竣工予定)
- 処理能力 選別・圧縮・圧縮梱包 11.2t/日  
保管 17.1t/日
- 処理対象物 〔選別・圧縮・圧縮梱包〕  
缶類、びん類、ペットボトル〔保管〕  
新聞紙、ダンボール、布類、白色トレイ、雑誌類、紙パック、有害ごみ



# 熱回収施設のごみ処理の流れ

各処理工程で、先進の技術を駆使し、優れた処理能力を発揮します。



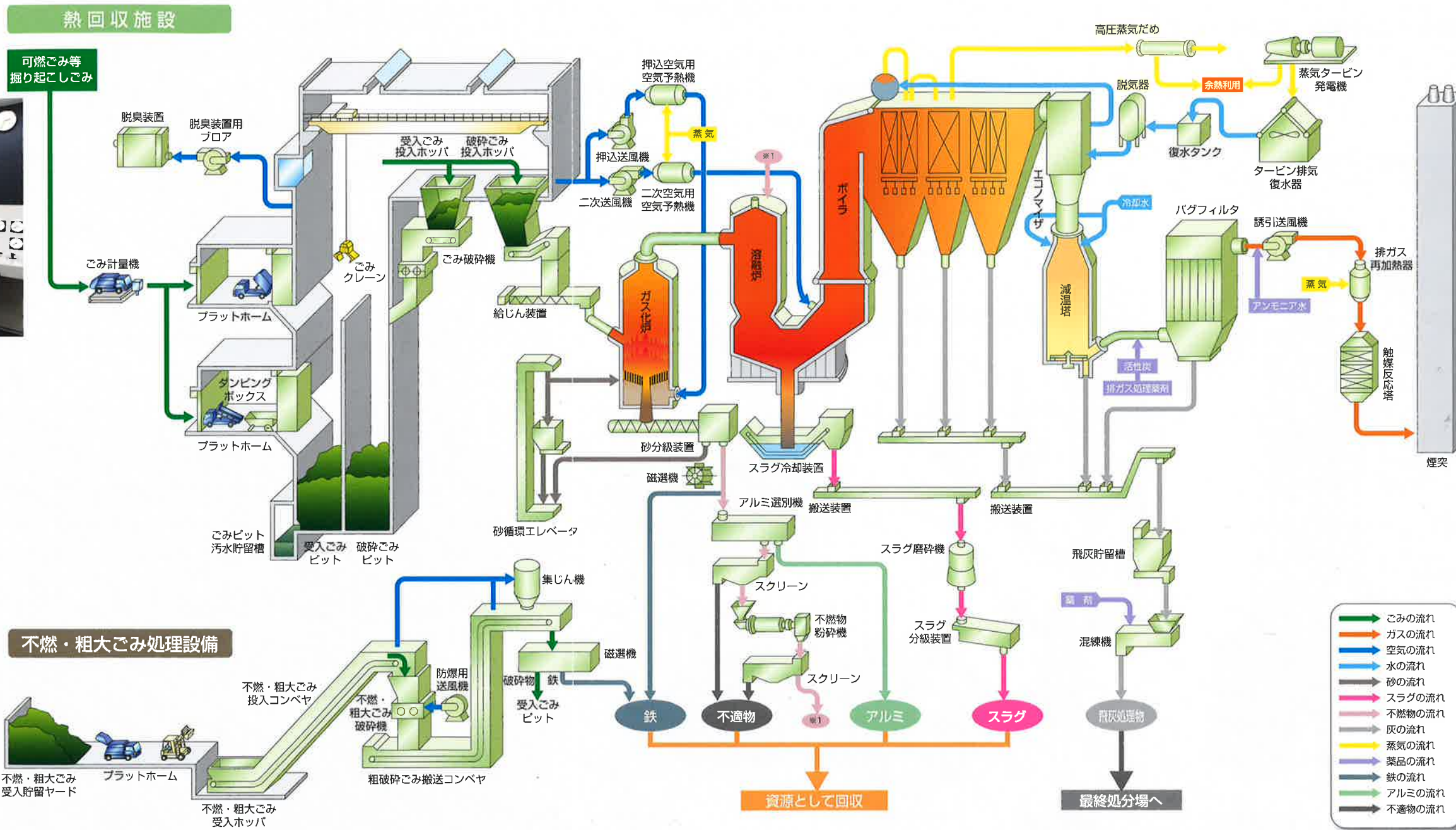
**中央制御室**  
熱回収施設内の機器と設備全体の監視・制御や運転操作をここで集中して行っています。



**プラットフォーム**  
計量を終えた収集車がプラットフォームへ進入し、投入扉を開いてごみピットへ投入します。



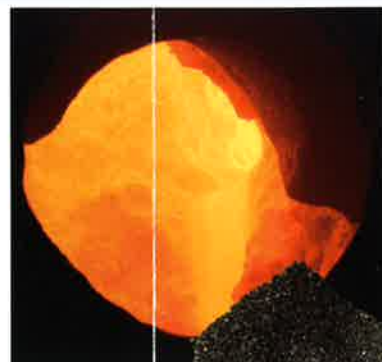
**ごみピット・ごみクレーン**  
ごみピットは受入ごみピットと破碎ごみピットがあり、ごみクレーンで受入ごみ投入ホッパ及び破碎ごみ投入ホッパに投入します。



**ガス化炉**  
供給されたごみは500~600℃の流動する砂と混合し、ガス化炉で熱分解した後、溶融炉へ送られます。



**溶融炉**  
約1250℃の高熱で灰分を溶融し、減容化及び無害化を図ります。



**溶融炉内**  
溶融した灰分は水冷され「スラグ」になります。



**ボイラ**  
排ガスの熱を利用して、ボイラで蒸気を作ります。



**蒸気タービン発電機**  
ボイラで発生した蒸気を利用して、最大1900kWの発電をしています。



**バグフィルタ**  
排ガス中のばいじんと有害物質は、この装置により取り除きます。